心のまなざし３月号

令和５年２月２８日発行　認定こども園様似町立幼児センター

行事や身近な自然を通して学び合う子どもたち～２月の様子～

立春を過ぎると、寒さの中にも日差しの暖かさを感じ、凍り付いていた地面も少しずつ緩み始めました。幼児センターでは、２月も雪遊びが盛り上がっておりましたが、下旬を迎えるころには積もった雪もザクザクとした雪質に変化し、子どもたちも汗をにじませながら遊ぶ様子がありました。散歩に出かけた先では、雪の上に色々な生き物の足跡が残っていて、子どもたちは足跡を見比べて、友達同士あれやこれやと会話を弾ませ想像を膨らませながら散歩を楽しんでいました。

幼児センターの豆まき会に向けた５歳児クラスの取り組みでは、鬼のお面作りを行いました。そのお面には、子どもたち一人一人の中に潜む「おに」について考えさせる行程がありました。子どもたちはそれぞれに「なきむしおに」「イライラおに」「おこりんぼおに」など、自分の中にある弱いところ、直したいところを考え、表現したことを友達や保育者と共有することができ、有意義な取組だったように思います。

幼児センターでは、行事や身近な自然とのかかわり合いの中で子どもたちが学び合える機会を大切にしていきたいと考えいます。引き続き教育保育活動へのご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

☆豆まき会☆

今年も幼児センターに鬼がやって来ました。病気や災いを運んでくる象徴である鬼に、豆をぶつけて追い払うことができました。

鬼退治の後は、福の神からたくさんのお菓子をもらい、楽しいひと時となりました。

☆リトミック(５歳児)☆

節分を過ぎた２月７日のリトミックでは、「うれしいひなまつり」を歌いました。講師の古舘先生から曲のイメージに合う振り付けを表現しながら歌ってみては？と提案があると、それぞれのイメージでゆったりとした身ぶり手ぶりを交えて歌って楽しみました。

☆一日入園☆

令和５年度入園予定のお友達が遊びに来てくれました。当日に向けて、５歳児きりん組のおにいさん、おねえさん達が作ったペンダントを手渡すと、とても喜んでくれました。

小さい子たちにいつも親切で優しい年長さんの思いやりの気持ちに、ありがとう！！

☆園周辺での冬の散策(３歳児)☆

小鳥が食べた花がらを観察したり、雪の上についた足跡を見比べて、どんな動物の足跡か想像しながら散歩を楽しみました。散歩の締めくくりは、堤防の斜面でのお尻滑り！冬の散歩も楽しいものです。

☆園庭での雪遊び(４、５歳児)☆

友達や保育者と協力して、大きなかまくらや雪だるまを作り、子どもたちなりに装飾を工夫する様子が見られました。色水で着色した雪をスイーツに見立ててごっこ遊びしたり、色水ごおりを作って冬の色彩遊びを楽しむことができました。

☆参観日(５歳児)☆

今年度 3 回目となる参観日では、ひなまつり製作の一斉活動を行いました。担任の説明を聞き課題に取り組む子どもたちの姿勢に、成長を感じました。

当日はお父さん方にも多数参観いただきました。ありがとうございました！